

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	特定疾患医療的療養交通費補助事業	コード	福祉事務所障害者福祉係
		02-01-03-19	担当者 坂本 寛
事業実施期間	平成17年4月1日～平成18年3月31日		
総合計画 事業（政策）体系	大項目	健康でやさしさあふれるまちづくり	
	中項目	やさしさあふれるまちづくり	
	小項目	障害者（児）福祉	
	施策	生活環境の整備	

事業について	
目的	特定疾患の患者に対し、交通費の補助を行うことで経済的負担を軽減する。
対象 (誰のために)	特定疾患の患者
内容	特定疾患の療養に係る交通費を週2回、月額5,000円を限度に支給する。

事業の結果	
実施項目	17年度
	回数など (単位)
交通費補助件数	171 件

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	1,972	国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	2,584	受益者負担		人件費		受益者負担	
	合計	4,556	一般財源等	4,556	合計	0	一般財源等	0

必要人員	0.37	人
結果指標名	交通費補助件数	
結果指標量	171	
単位	件	
対前年比	—	
事業費	4,556,000	円
単当たりコスト①	26,643	円

結果指標名	交通費補助件数	
結果指標量	171	
単位	件	
対前年比	—	
事業費		円
単当たりコスト②		円

事業の成果	
成果指標名	交通費補助件数
	式又は説明
成果指標量	171
対前年比	—
到達目標値	171
	到達目標年度
	毎年度

事務事業の評価		課題認識
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	補助該当者に漏れない様に注意を図る。
	対象の妥当性	
	市民ニーズの妥当性	
市の関与の妥当性	市の関与の妥当性	
	市民ニーズの妥当性	
効率性の評価	コストの効率化	補助金の交付を10月と4月の年2回とし、申請の簡素化と事務の軽減を図っている。
	手段の最適化	
	職場の効率化	
有効性の評価	目的達成度	市民参画度
	成果向上の可能性	
	市民参画度	

総合評価	
コメント	災害被害を受けた住民の援護と奮起を促すために必要な事業である。
評価区分	<A~E>
	B

今後の方向性	
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
<input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 完了・統合
翌年度結果指標量①	171
結果指標量②	
目標値	171

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
妥当性	補助該当者の把握	18年度	補助金の公平な支給

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である結果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。